

**総合振興計画・定住自立圏共生ビジョン・総合戦略
審議会委員からのご意見及び浜田市の考え方**

No	ご意見の概要	浜田市の考え方
〈資料 2〉前期基本計画の進捗評価（案）		
1	<p>人口減少に伴い「若者が暮らしやすいまちづくり」これは何をしますのでしょうか。Iターン、Uターンの支援には手を尽くされていますが、地元で根付いた若者達にも何かの支援をする施策も必要と思われます。大手スーパー等の進出で個人経営者は守ることができなくなるのもその一つです。農業に関しても同じことが言えると思います。</p>	<p>（事務局）</p> <p>人口減少、少子化の要因の一つである「若者の減少」に重点を置いた「総合戦略プラス」を後期基本計画へ引き継いで実施していくこととしており、その中では、若者が暮らしたい、そして住んでよかったと思えるまちづくりに取り組むこととしています。浜田での出会いを支援、結婚・出産の支援、子育て支援など、地元で暮らす若者に対する施策が盛り込まれています。</p> <p>また、浜田で暮らす若者たちが立ち上げた組織で住んでよかったと思える施策の立案のに向けた検討を行っています。</p>
2	<p>（1頁）目標達成率別状況〔表 1〕の%で示されている表と、（2頁）進捗評価別状況〔表 2〕のA～Eで示される表が似ているだけに内容がどういった意味で違うのか、説明が無いために非常に分かり難い。</p> <p>進捗評価としては、A～Eだけの方が分かりやすのではないだろうか。</p> <p>また、到達割合で0%未満が進捗状況でE評価にならないのはなぜか。</p>	<p>（事務局）</p> <p>目標達成率別状況〔表 1〕と進捗評価別状況〔表 2〕については、それぞれに説明書きを入れていますが、わかりやすい位置に記載します。</p> <p>目標達成率別状況：実績値における目標値までの到達割合</p> <p>進捗評価別状況：目標達成に向け6年間の取組が計画どおりかどうかを評価</p> <p>進捗評価については、審議会の中でも少し説明がありましたが、前期基本計画では達成率と進捗評価は直接連動していないものとして、それぞれの目安として示しています。E評価については、「何もしていなかった」という意味合いの評価となっていることから、0%未満の達成率であっても何らかの取組を実施したが、大きく下回っているものになります。そのズレの理由がわかるよう、各目標項目の進捗状況欄に説明を示すこととしています。</p>
3	<p>総括について、新型コロナウイルス感染拡大の影響がどのようにあったのか、影響がない項目についての考察など、具体的に記載していただきたいです。</p> <p>（3）基本指標は、数値結果に対し前期の計画内容を振り返って記載されるべきと思います。</p>	<p>（事務局）</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響については、（2）進捗評価別状況の部分で記載をしています。</p> <p>（3）基本指標については、数値結果と合わせて振り返りを記載します。</p>

〈資料3〉総合振興計画

【産業経済部門】

4	<p>(8頁)「新規学卒地元就職者数の増加」については、以前も意見させていただいたかもしれませんが、高卒と大卒を区別して管理されてはどうでしょうか。高卒と大卒では求人のやり方から採用後の処遇、職種まで異なるところもあり、今後評価を上げるために必要な対策も異なる部分があると思われます。</p> <p>2017年以降、「C」評価が続き、このコロナ禍でも「C」ですが、今後何かよい方策があるのでしょうか。これまでと同じ手法、目標設定、進捗管理、評価では現実は何も変わらないと思います。</p>	<p>(産業経済部)</p> <p>担当課においては、学校ごとのデータを集計しておりますので、傾向分析や対策には反映してまいります。</p> <p>後期基本計画においては、少子化の影響や進学率の増加を考慮して、現実に即した目標値に下方修正をしています。</p>
---	--	--

【健康福祉部門】

5	<p>(9頁)健康づくりの推進において、健康寿命の延伸はとても大切なことなので、何とかデータを出してほしい。浜田圏域は、県下で最下位な所であるので、しっかりした取組をする必要がある。</p>	<p>(健康福祉部)</p> <p>健康寿命のデータは、島根県健康指標データベースシステムのデータを県から提供していただいている。2021年度の提供は秋以降になることを確認している。直近の数値を参考に健康寿命延伸の取り組みは進めている。</p> <p>※この度県からの提供があり、現状値を追加掲載しました。</p>
6	<p>(10頁)子育て支援センターの施設数の増加について、施設を作ってしまうとずっとA評価になることは当たり前かと思うが、数値が変わらないのであれば総括のところで内容が変わっていったことや充実してきたことを詳しく書いていただきたい。</p>	<p>(事務局)</p> <p>目標が達成し数値が変わらないものについては、総括のところに各部門において、作った後に充実したこと、内容が変わったことがあれば書き加えたいと思います。</p>
7	<p>(12頁)「地域生活支援拠点の増加」については、何もできていないのにずっと0でC評価になっている。ここは成果がないのであればD評価ではないだろうか。何か変化があればCということもあると思う。一般の方が見られたら理解されるのかと思う。</p>	<p>(健康福祉部)</p> <p>実質的に地域生活支援拠点というものはできませんでしたが、地域の実態に応じた複数の機関が分担して機能を担う「面的整備型」で拠点整備を進めることとしたということで、実施要項を定めて今後それに向けて行っていくという新たな展開を求めているというところでC評価としております。</p>
8	<p>(12頁)「地域生活支援拠点数の増加」の【前期基本計画の総括】で、地域の実情に応じて…実施要綱を定めた。とあるが、どのような要綱か、記載があるといい。</p>	<p>(健康福祉部)</p> <p>要綱の内容にも触れるよう、下記の記載に改めます。</p> <p>記</p> <p>事業開始には至らなかったものの、実施要綱を制定し、複数事業者が分担して機能を担う「面的整備型」で拠点を整備するなど、市の方針を明確にした。</p>

9	<p>コロナの影響で数値が出ていないが、がん検診の受診者数がわかれば、見えるものも違ってくるのかと思う。</p> <p>シルバー人材センターの会員数の増加がC評価になっているが、受託件数、契約金額に大幅な増加があるということからC評価は厳しいのではないかと感じた。</p>	<p>(健康福祉部)</p> <p>今の段階で、検診者数を評価基準に変えるということは難しいかと思えます。がん検診の受診者数については、他のところで出しておりますので確認いただきたいと思えます。</p> <p>シルバー人材センターの会員数の増加については、近年会員の減が著しく、目標設定から言えばC評価となりますが、部内で調整させていただきます。</p>
【教育文化部門】		
10	<p>(13～14 頁) 学校教育の充実目標が「～と思う子どもの割合の増加」というのは、いつまでも違和感をもつ。全国学力・学習状況調査による肯定率に基づき数値化できる目標としている意向はわかるが、子どもの主観に頼るような目標より、全国学力の平均点などの具体的で明確な目標を定めるべきかと思う。</p>	<p>(教育部)</p> <p>島根県教育委員会と各市町村教育委員会とが協働して取り組んでいる「しまねの学力育成推進プラン」の目標値との整合性を図るために学力調査の児童生徒意識調査結果を目標に反映させました。ご指摘の全国学力調査の平均点などを目標に定めることについては、浜田市教育振興計画の学力育成総合対策事業において、浜田市の平均正答率が島根県平均正答率を上回ることを目標に設定しています。</p>
11	<p>(13 頁) 子どもの割合の増加の項目について、アンケートによるものであり、100%を目指すのではなく、違う値になっているので、設定時の考え方を教えていただきたい。</p>	<p>(教育部)</p> <p>学力調査に合わせて行う意識調査で、確実な数値が出てくるものです。策定時の数値をどこまで上げていこうかというところで100%というより、着実にステップアップし、ある程度越えられそうなところを目標として設定しております。後期基本計画の策定においても教育委員会の中で議論し、当初より高めの目標設定とさせていただいたところです。</p>
12	<p>(15 頁) 学校支援のボランティア人数の件は、コロナ禍で活動が難しい事からのCランクは、意味が違うと思う。単に人数減少だけを評価しているように思われる。</p>	<p>(教育部)</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>学校支援のボランティア人数につきましては、学校支援地域本部事業のボランティアの延べ人数を評価指標としているため、委員ご指摘のとおり新型コロナウイルス感染防止対策により事業等が中止になれば、延べ人数も減少し、評価に影響する形となっております。</p> <p>後期計画も目標値は延べ人数となっており、人数の確保に努めることとあわせて、いただいたご意見を参考に、ボランティアの内容等について、評価時に反映できる手法を検討してまいります。</p>

13	<p>(15 頁)「学校支援活動に参加したボランティア人数の増加」は、コロナで実施回数に減少は見えるが、できた回数に参加した人の人数で評価してほしい。</p>	<p>(教育部) ご意見ありがとうございます。 学校支援のボランティア人数につきましては、学校支援地域本部事業のボランティアの延べ人数を評価指標としているため、委員ご指摘のとおり新型コロナウイルス感染防止対策により事業等が中止になれば、延べ人数も減少し、評価に影響する形となっております。 後期計画も目標値は延べ人数となっており、人数の確保に努めることとあわせて、いただいたご意見を参考に、各事業のボランティア数や、ボランティアの内容等について、評価時に反映できる手法を検討してまいります。</p>
14	<p>(16 頁)文化財の指定・登録件数は、2019 年度から 73 件が続いて 175%の達成率になっているが、何が基準でこの達成率になっているのか。</p>	<p>(事務局) 66 件を 70 件に増やすという目標であり、4 件増やしたいというところで、その 4 件に対してどのように増えたかというものになります。例えば、2018 年度を見ていただくと 68 件というところで 2 件増えております。4 件増やしたいうちの 2 件というところで 50%、その次の年は 73 件で、7 件に増えて 175%になっております</p>
【地域振興部門】		
15	<p>(26 頁)「人材育成研修会等の開催回数の増加」で、まちづくりは立上げありきのような感じがするが、地域リーダーの育成とは、どのようなことが育成として挙げられるのか。</p>	<p>(地域政策部) 地域課題が複雑化・多様化している現代社会において、行政や個人だけでは対応しきれない問題を解決するため、「地区まちづくり推進委員会」の設立や活動の支援を推進しております。 そのためには、地域リーダーの育成が重要と考え、地区まちづくり推進委員会などのまちづくり活動団体等に対し、まちづくりフォーラムや先進地視察、研修等を実施しています。 また、多様な人材がまちづくりに関わる仕組みや環境の整備することも将来の地域リーダーの育成につながるものと考え、取り組んでまいります。</p>

【自治区別計画】		
16	<p>(30 頁浜田自治区)「自主防災組織の組織率の向上」の立上げに関しては、小さい自治会では、会長が短い期間で代わることがあり、組織立上げの協議がなかなか進まず、難しく考える自治会がある。現在、組織されていない町内会においても訓練や出前講座の受講など防災活動は実施されているので、世帯数の少ない町内会が単体ではなく、少し大きなまとまりで組織化することを進めてほしい。</p>	<p>(総務部)</p> <p>自主防災組織の設立については、町内会単位、自治会単位、まちづくりセンター単位など、様々な単位で組織化されております。</p> <p>地域によって、災害の危険性や、活動に適した人口規模などは様々であると思いますので、自主防災組織の運営が適切にできるよう、地域の実情に応じた活動単位での組織化について、推進・支援してまいります。</p>
【全 体】		
17	<p>前期基本計画では、取組の評価（A B C D E）と達成率を別物だという整理をしてきたが、達成率がマイナスで評価がCというのを一般市民が見たときに違和感があるのではないかと思われる。前期基本計画の進捗管理はこの方法でやってきたので、ここで変えるという話ではないが、後期基本計画の評価方法については、工夫する余地があるのではないかと考える。</p>	<p>(事務局)</p> <p>後期基本計画の進捗管理に向けて、わかりやすい評価や見やすい表になるよう検討します。</p>
18	<p>E 評価が一つもついていないが、D 評価と E 評価の違いがわからない。</p>	<p>(事務局)</p> <p>数値的な判断基準はありませんが、「全く何も実施できなかったもの」が E 評価、「何らかの対策や事業実施を講じたが、目標値を下回る結果となったもの」について D 評価という評価を行っております。</p> <p>分かりにくい評価については、今後の後期基本計画に向けて評価方法を検討させていただきたいと思っております。</p>
19	<p>数値目標による単純な評価であればわかりやすいが、それ以外の取組を書き込んだところも評価の対象となっているのであれば、しっかり読み込まなければわかりにくいと思う。表もとても見づらいので、見た人がわかりやすい表にさせていただきたい。(色、上方修正の見せ方)</p>	<p>(事務局)</p> <p>ご意見としていただき、評価方法と合わせて後期基本計画の評価表を検討し、皆様にお示ししていきたいと思っております。</p>

20	<p>進捗表について、②進捗評価と⑩前期基本計画の評価を分ける必要があるか、疑問です。</p> <p>進捗評価がC、基本計画の評価がBなど、異なる評価を記載されているが、分けられる理由がわかりません。</p> <p>基準値や目標値に対する達成度が最終的な評価なので、7年間の評価はなくてもいいと思います。(数値化しているのにも関わらず、状況や総括で「努力している」「成果が得られた」「今後も努力する」などと記載されることで評価が上がったり、下がったりするのは違うと思うため)</p> <p>進捗評価の内容が、状況や総括で総合的なランクが変わること自体、不自然だと思っておりますが、過去の審議会においてそうされるべき、と決まったことであれば、別で評価されても致し方ないと思います。</p> <p>もし、7年間の評価を入れるのであれば、前段として新型コロナウイルスに関する影響があったかどうかとわかりたいと思います。(影響を受けても評価がよい目標の中にはあるため、受けた項目をわかりやすくされるべき)</p> <p>今回の総合振興計画の基本計画は、前期の評価であるため、そこに至るまでの経過と最終評価を別表にされることをお勧めしたいです。</p>	<p>(事務局)</p> <p>進捗評価については、審議会の中でも少し説明がありましたが、前期基本計画では達成率と進捗評価は直接連動していないものとして、それぞれの目安として示しています。2021年度の評価と6年間の評価のズレの理由について、前期基本計画の総括欄に説明を記載することとしています。</p> <p>ご提案のありました「進捗表」について、取り入れさせていただきたいと思います。</p>
----	---	--

〈資料4〉定住自立圏共生ビジョン

【結びつきやネットワークの強化に係る取組】

21	<p>(10頁)「防犯出前講座の開催回数の増加」について、「防犯講座については警察への直接依頼が多く、数字が伸び悩んだ」とありますが、別のルートがあって市役所が回数を把握しきれないものを評価するのは難しいと思います。警察への直接依頼でも講座が実施され、市の考える目的が達成できるのであれば、その回数も含めて評価してもよいでしょうし、それができないのであればこの場での評価は意味がないと思われます。</p>	<p>(総務部)</p> <p>防犯出前講座の開催回数は、市が講師を務めた、もしくは警察等と連携して行った講座の回数としており、市民が警察に直接依頼された講座の回数は含まれません。</p> <p>市としては、警察の防犯講座に加え、市民の安全安心に対して、市が積極的に関与していく必要があるとの考えから、独自目標を掲げて取り組み、開催回数の進捗管理を行うことが必要と考えております。</p>
----	--	--

〈資料5〉総合戦略	
【産業振興と企業立地による雇用の創出】	
22	<p>(3頁)「企業立地優遇制度による雇用創出数」は、大事な目標であるのに100人に対し、2021年度は6人(累計で54人)という結果は、コロナの影響で少なかったというよりも努力不足だと思う。都会より田舎の方がコロナ感染のリスクは少ないので、メリットの方をアピールできるはず。何でもコロナの影響にしてしまうのは違う気がする。</p>
	<p>(経済産業部)</p> <p>ご指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響のみにより目標が達成できなかったとは考えておりません。努力不足だった点については反省し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大下における誘致活動についても、国や県からの要請に従いながら今まで以上に浜田市よさをPRするような活動に改善してまいります。</p>
【総合戦略プラス】	
23	<p>(27頁)不妊治療、特定不妊治療助成の件数の値、達成率、評価があつてとなっているが、不妊治療に対して「目標」ということに違和感がある。この目標に至った経緯を教えていただきたい。</p>
	<p>(健康福祉部)</p> <p>浜田市は以前から不妊治療に力を入れておりました。この制度について、知っていただくという周知の意味を含めて計画に盛り込んでおります。</p> <p>なお、この施策は後期基本計画に引き継がれていますが、目標設定はしておりません。</p>
24	<p>(27頁)不妊治療助成に関する目標設定では、意見があつたとおり、治療を求める人の分母が少ない事の方が幸せなことであるので、申請数の増加目標を高らかにうたうのは違和感があるかなと思います。また、一般市民の人が目にするものであるなら「達成率」などの表現は工夫する必要があるかなと思いました。</p>
	<p>(健康福祉部)</p> <p>心身面や経済面に対する負担や様々な不安を抱えながら不妊治療を受けている方が多くおられ、経済的負担を少しでも軽減して臨んでいただけるよう市では治療費の助成を行っています。市の取組について、不妊治療を検討又は実施しておられる方に少しでも知っていただくために、周知にも力を入れており、申請数の達成率は周知状況の評価とも捉えています。</p>
25	<p>(28頁)「15歳から39歳での人口」の項目で、【進捗状況】にある主な移動理由が転入転出ともに「転勤」「就職」であった、とあるのに対して【今後の取組】が「浜田で出会い・結婚・出産・子育て」等の若者対策を着実に展開し…とあるのが、移動理由の現状に今後の対策内容がマッチしていないのでは…と感じました。転勤や就職で出ていくものに対していきなり浜田に戻って定住しろって言われても…って感じです。</p> <p>この理由に対してなら、若者が出て行ってしまう前に、地元雇用機会の創出や企業の魅力発信などに力を入れなければ意味がないので、そういった表現の方がしっくりくると思います。</p>
	<p>(地域政策部)</p> <p>今後の取組の記載について以下のとおり記載を変更します。</p> <p>『社会動態を調査・分析し、状況を把握するとともに、地元企業への就職者の増加に向けた施策や「浜田で出会い・結婚・出産・子育て」応援プログラム等、状況に応じた若者対策を着実に展開し、若者が暮らしやすいまちづくりの推進に向けた横断的な取組を図っていく。』</p>

26	<p>(28 頁)「15 歳から 39 歳までの人口」について、「10,000 人を維持する」より、「減少幅を毎年 150 人程度にとどめる」を KPI にされてはどうでしょうか。減少幅を 150 人にできたとしても、どこかで 0 人にしない限り、10,000 人を割り込む日がいずれ来ます。また、「150 人」という数字に何らしかの根拠があるなら、「150 人程度」よりは「150 人」と言い切った方が、評価がブレないと思います。</p>	<p>(地域政策部)</p> <p>KPI の変更はできませんが、2 段書きで示すなど、数値が追いやすい記載にします。</p>
【全 体】		
27	<p>社会増減数において、帰りたくなる浜田を目指すことが必要。広島方面からも仕事を取り入れ働ける場所づくり、浜田に愛着が持てる施策が必要では。</p>	<p>(事務局)</p> <p>社会増減への施策については、現在も様々な取組を行っておりますが、社会減の歯止めがかからない状況にあります。引き続き社会動態を調査・分析し、状況を把握するとともに、帰りたくなるよう施策が講じられるよう、横断的な取組を考えてまいります。</p>
28	<p>(18 頁) 社会増減数について、2、3 年毎の変動も含め分析されているとのことですが、その年代や理由について、引き続き詳細に調査していただきたいです。進学や異動は仕方ないとして、普通の生活ができる、子育てができるような賃金が得られる仕事がなく、転出する人もいと聞きます（あくまでも身の回りでよく聞く話で、数値的な根拠はないです）。これがもし事実であれば、産業や雇用の問題であり、社会増減数だけ 追いかけても、U・I ターン者を増やしても 根本的には解決しないため、定住促進や郷育に併せて、産業育成や企業誘致、雇用促進をより強化していただきたいです。</p>	<p>(地域政策部)</p> <p>社会増減数については、引き続き社会動態を調査・分析し、状況を把握するとともに、状況に応じた転入増・転出減につながる施策を展開してまいります。</p>
その他		
29	<p>何箇所かのまちづくりセンターで、清掃に問題と感じた。職員も常駐されているので、住民が集まる場所ということからもそういったところに目配りしていただきたい。</p>	<p>(地域政策部)</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>日常清掃等については、センター職員が定期的に行っておりますが、市民の皆様により利用していただけるよう、改めて清掃の徹底に努めます。</p>
30	<p>進捗状況を示すための各項目の表が、一見してすごく分かりにくい。現状値、目標値、評価とその下段に年度が重ねて表示してあるので、もっと簡潔に誰もが理解できるような表にすべきだと思う。</p>	<p>(事務局)</p> <p>後期基本計画の進捗評価では、誰もがわかりやすい表になるよう今後検討します。</p>

31	<p>会議でも意見が出ていましたが、例えば前期基本計画の4頁「アワビ稚貝放流数の増加」についてで、目標達成率が87.2%であるのに進捗評価が【A】となっていたり、まち・ひと・しごと創生総合戦略の28頁「15歳から39歳までの人口」で達成率12.2%なのに【B】評価であったりと、数値での判断基準が分かりにくいものや、数値で判断できないものに対しての評価基準が不明瞭なものなどが多いかな…と思いました。</p> <p>目標が数値化できないものもあるので、例えばポイントに置き換えて判断するなど、何か統一できる基準があるとわかりやすいと思いました。</p>	<p>(産業経済部)</p> <p>項目によっては、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、単純数値により評価がしにくいものもあると認識していますが、「アワビ稚貝放流数の増加」については、単年度ごとの目標値に対する達成度を進捗評価としています。</p> <p>(事務局)</p> <p>進捗評価については、審議会の中でも少し説明がありましたが、前期基本計画では達成率と進捗評価は直接連動していないものとして、それぞれの目安としてお示ししております。</p> <p>評価基準について、後期基本計画の評価方法を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
32	<p>もう少し見えやすく、字が大きければうれしいです。ページ数が増えるかな。</p>	<p>(事務局) 表や文字を大きくするなど、見えやすい記載にします。</p>